



ジュゴン Vol.104

ちゃんぷるニュース

SDCC 2019. 5. 28

Save the Dugong Campaign Center

CONTENTS

- 2/3 情勢・ジュゴン救いの声を国内外へ
- 政府交渉報告
- 4/5 アースデイ東京
- SDCC 総会報告
- 6/7 大騒ぎキャンペーン
- わんさか通信★ジュゴンのわ
- コラムー「冷和」の時代



ハイサイ。知事選、県民投票に続き辺野古を抱える名護市、わが町本部町を含む沖縄3区衆院補選において玉城デニー知事の後を引き継いだ屋良朝博さんが辺野古推進を明言した島尻アイ子に圧勝し、「辺野古NO!」の民意を明確にした。しかし、安倍政権は今回も示された民意の前に立ち止まることなく、選挙直後もまるで何事もなかったかのように本部半島に位置する琉球セメント安和棧橋からの土砂海上搬出を続け、辺野古の海への投入を強行してきた。さらに、防衛局は、昨年9月の台風 24 号で岸壁が破損し、使用が認められていなかった本部港塩川地区（塩川港）からの海上搬出の再開を企てた。

印象操作を許さず、「辺野古NO」の拡大で埋め立てを阻止しよう

実は、港の復旧工事は本年3月末に完了し、許可権限を県から移譲されている本部町は4月からの岸壁使用を許可していた。にもかかわらず昨年来、県、本部町に対して執拗に圧力をかけ塩川港の早期使用を認めるよう迫っていた防衛局が塩川港からの搬出再開に出たのが4月25日。明らかに、大型連休前の4月中での岸壁使用の実績づくり、アリバイ工作であり、本土メディアも動員し、100名のガードマンと40名の防衛局職員を配置し、大型台船での土砂大量搬出を見せつけるためのセレモニーを狙ったものであった。

しかし、この目論見、本部町島ぐるみのメンバーはじめ急遽駆け付けた市民約40名の抗議行動で1日かけてわずか24台分の土砂しか積み込みを許さなかった。一方メディアは一斉に「土砂投入加速へ」を報道した。政府の狙いはここにあったということが出来る。たとえ、県民の意思がどうであろうと、また実態はどうであろうと着々と埋め立ては加速されているとの「印象操作」である。5月6日全国紙が報道した何の根拠もない、地盤改良工事の「工期短縮」見出しも、軟弱地盤問題に絡んで工期も費用もわからないという有り得ない公共工事という批判への苦し紛れの「操作」であろう。

5月11日に持たれた5月の辺野古ゲート前大集会（オール沖縄会議主催）には900名を超える市民が結集。糸数慶子参議院議員、高良鉄美予定候補者そろって姿を見せ、7月の参議院選挙、沖縄区の「平和の1議席」をさらに「平和と尊厳の1議席」としてしっかり引き継いでいくとの決意が。辺野古ゲート前、安和棧橋、塩川港での戦いを強め、「海は宝、命どう宝、参議員もタカラ」で県民の意志を示し続ける。

(沖縄 高垣喜三)

[WEB] <http://www.sdcc.jp/>

[EMAIL] info@sdcc.jp



キャンプ・シュワブ ゲート前にて(本面)



4月20日アースデイ東京にて(4面)

情勢

『沖縄ジュゴン救え』の声を国内外に広げよう

<展望なき新基地建設>

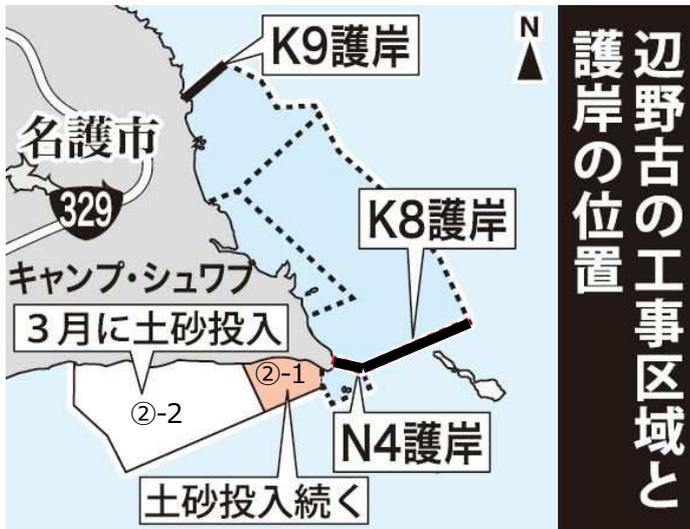
辺野古ゲート前や本部塩川港などでの闘いが辺野古埋め立て土砂搬入を大幅に遅らせています。防衛省は辺野古沿岸域（②-1, 2）での埋め立て土砂搬入の遅れを取り戻すために、海上輸送の棧橋であるK9護岸に続き、K8護岸の造成に全力を投入しています（地図参照）。大浦湾埋め立て予定地の軟弱地盤問題については、防衛省は軟弱地盤改良事業のための業者決定を7月末に、来年3月末には設計変更申請書を作成するとしています。しかし、深さ90mに及ぶ軟弱地盤の改良事業を行うための技術や作業船を持っていないにもかかわらず、業者に責任を転嫁しています。沖縄県が試算した工期地盤改良5年、埋め立て5年、施設整備3年で計13年や総工費2兆4千億円についての追及には一切答えません。来年度、防衛省が沖縄県に設計変更申請を提出しても、埋め立て承認撤回を進めている沖縄県が承認するはずもありません。また、大浦湾の辺野古断層が「活断層の可能性が高い」（立石新潟大学名誉教授4月26日沖縄報告会）ことなど、新基地建設の見通しは立っていません。

<住民自治と民主主義の課題として>

3月18日沖縄ジュゴンBの死体が発見され、ジュゴンA、Cは行方不明です。埋め立て工事で沖縄ジュゴンの危機が起こっています。嘉陽沿岸域に定住していたジュゴンAが行方不明になることは、餌場を中心に生息するジュゴンの生態

からは考えられません。ジュゴン訴訟の米国原告団 CBD（生物多様性センター）ら12団体は米国連邦議会下院に「沖縄ジュゴンの死は、無謀な工事が原因。辺野古工事の一時中止」を求めています。また、IUCN（国際自然保護連合）種の保存委員会ジュゴングループは対応の検討を始めています。ジュゴンBの死は国際的な課題になっています。

ジュゴン訴訟公判審は1月から始まり、国防総省が提出した行政記録（14年4月）の検討を基本に審理を進めています。原告団は新基地建設工事で沖縄ジュゴンが危機的な状況にあること、昨年4月に翁長前沖縄県知事が国防総省に協議を申し入れているが無視されていること、埋め立て予定地の軟弱地盤や活断層の存在などを審理することを求めています。私たちは米国政府第三者機関の海洋ほ乳類委員会と国家歴史保存諮問委員会にスタッフを派遣し、米国原告団 CBD とともに沖縄ジュゴンの危機的な状況と展望なき新基地建設について説明します。また、米国連邦議会にも働きかけます。沖縄と本土をむすぶ闘いで本土の世論も変わってきています。堺市や岩手県など10議会で「辺野古見直し」の意見書が採択され、この6月議会でも130議会で住民自治と民主主義の問題として議論される予定です。ジュゴン訴訟の公開審理に向けて、大騒ぎキャンペーンで『沖縄ジュゴン救え』の世論を国内外で大きくしましょう。そして、ジュゴン訴訟の勝利判決を勝ちとりましょう。



沖縄タイムスの地図に一部加筆



琉球新報 2/24
新基地建設作業が進む米軍キャンプ・シュワブ沿岸部



政府交渉

ジュゴンを絶滅させる工事を止めよう！



— 4月19日（金）に防衛省、環境省と交渉しました —

防衛省は、ジュゴン B の死亡や A,C の行方不明は「工事の影響ではない」と開き直りました。「ジュゴン A（嘉陽）が最後に確認されたのは西海岸である。通常、東海岸の嘉陽だが、西海岸に回遊しその後行方不明になった。だから工事は関係ない」「ジュゴン C が行方不明な時、ボーリング調査は休んでいた。だから工事は関係ない」。工事による餌場の喪失や船舶の音によるストレスの蓄積により、ジュゴンが従来の餌場に近寄りなくなったのではないか、という生態学的な視点を無視し、形式論でジュゴン絶滅の危機からの責任逃れに終始しました。沖縄防衛局の環境等監視委員会では、船舶の音の周波数とジュゴンがコミュニケーションに使う鳴き声の周波数を比較検討する必要について調べる必要も指摘されましたが、防衛局は無視しています。

環境省では、世界自然遺産登録推薦書にある「北部訓練場の自然環境保全に関する米軍との協力」の「合意文書」が、国際的合意文書の体裁を整えていない（日付がない、サインがない）と追及しました。環境省は「経緯などは公表できないが、合意文書だ」と強調しました。公式文書として認めた以上、環境省は内容の遵守を、日米合同委員会などで米側に求める責任があります。

また「ジュゴンの行方不明について危機的な状況であることは認識している。八重山諸島の波照間で、ジュゴン親子が発見されたとの目視情報が昨年夏にあったことはまだ希望がある」（環境省）と明らかにしました。

環境省には①ジュゴン A、C の行方不明の調査のため、工事中止を防衛省に要請すること②ジュゴン A の行方不明調査を行うこと③ジュゴン B の死亡を環境省 HP にアップすること、を求めました。

米国連邦裁判所でジュゴン訴訟控訴審が始まりました。IUCN（国際自然保護連合）種の保存委員会で沖縄ジュゴンの危機の検討が始まっています。今回の交渉内容もジュゴン訴訟と IUCN に返し、ジュゴンを絶滅させる工事を止めていきたいと思います。（関西 松島洋介）



「世界自然遺産への推薦について米側との合意文書」の具体化を進めよう！



日本政府は 2 月 1 日にユネスコ世界遺産センターに「奄美大島・徳之島・沖縄島北部および西表島」の世界自然遺産登録の推薦書を提出しました。2018 年世界遺産登録申請が IUCN（国際自然保護連合）の評価で「記載延期」となり、日本政府は再申請したので、再申請の登録推薦書で IUCN の勧告がクリアされたのでしょうか。

日本政府は昨年 6 月に米軍北部訓練場の跡地を含む 3700ha を「やんばる国立公園」に急遽編入することで IUCN が指摘した「分断された小さな推薦地」問題を解消しました。しかし、やんばるの森に生息する絶滅危惧種ノグチゲラ、ヤンバルクイナなどに影響を与えるオスプレイの訓練問題が残っています。この点を昨年 11 月と今年 4 月の政府交渉で追及してきました。世界自然遺産登録推薦書にある「5-53 北部訓練場の自然環境保全に関する米軍との協力」の「合意文書」（p.1183）では、「推薦地域の顕著な普遍的

な価値を維持するため、北部訓練場を含む沖縄島北部一帯に於いて侵略的外来種の防除など必要な事業を推進することにより、世界遺産推薦地の保全へ特段の配慮をすることが重要との認識を共有した」としています。環境省交渉では、①合意文書の「必要な事業」については、今後、沖縄県等の地元や環境団体などの意見をふまえて検討する、②国際的合意文書の体裁を整えていない（日付がない、サインがない）については、「経緯は公表できないが、合意文書だ」と再三強調しました。合意文書の後段に「日米両政府は…世界遺産地域の適切な保全・管理を図るために、必要に応じて意見交換などを行うことについて合意した」とあり、米国は世界遺産条約によって推薦地やんばるの森の保全については規制されることから、私たちは「合意文書」を手掛かりに運動で補強するとともに、環境省には日米合同委員会環境分科委員会などで努力することを求めました。（事務局 蜷川義章）



アースデイ東京2019

平和なくらしのつくりかた ～沖縄から問われる民主主義～



One Peace Okinawaの一員として

4月20日・21日に代々木公園で開催されたアースデイ東京2019に、「実行委員企画」One Peace Okinawaとして参加しました。3年目となるOne Peace Okinawaは、6団体・1個人が共同出展し、沖縄の問題を自らのものとして東京から発信しています。

今年のコンセプトは、『平和なくらしのつくりかた～沖縄から問われる民主主義～』です。「安心安全に暮らしたい」という当然の権利が守られていない沖縄。政府は軍事拡大や辺野古新基地建設を強行しています。憲法や民主主義、「私たちの納めた税金の使われ方」という視点から、沖縄の問題を私たちみんなに関わるジブンゴトとして一緒に考えましょう！～と訴えました。

今年トークの内容は、軍事力のこと、沖縄の基地のこと、首都圏の基地のこと、高江の空と暮らしのこと、オスプレイ配備のこと、戦闘機が飛び下で子どもたちが遊ぶ日常のこと、基地による自然破壊のこと、沖縄戦の真実・・・と例年以上にハードなものが並びました。私たちの身の回りで起きている事柄を考えれば当然のことだと思います。

一例を紹介すると、半田滋さん（東京新聞論説編集委員）は、「こんなにある米軍基地、首都圏・沖縄」と題して、身近な問題として米軍基地をクローズアップしてお話しいただきました。



湯浅一郎さん（ピースデポ共同代表）は、「軍事力で平和は作れない～沖縄の軍事化の現状から」と題して、板門店宣言・米朝共同声明を踏まえた冷戦構造をなくしていくプロセスまで踏み込んでお話しいただきました。

宜野湾市普天間にある緑が丘保育園に、2017年12月7日米軍ヘリから部品が落下しました。その緑が丘保育園の保護者が立ち上げた「チーム緑が丘 1207」の映像とアピールがありました。

またライブステージでは、毎年参加している海勢頭豊代表やMilkさんをはじめ、今回は川口真由美さんが初登場しました。川口さんはキャンプシュワブのゲート前などで、パワフルな歌声を披露し参加者を鼓舞していますが、アースデイでも黒山の人だかりができるほど注目を浴びていました。

ブースでは、沖縄物産センター、全国まるび多摩の書籍、グリーンアクションさいたまのジュゴン折り紙コーナー、ゆんたく高江のTシャツ販売、SDCCなど多彩な企画でした。

アースデイ東京で沖縄課題を継続的に取り組んでいく重要性を実感した二日間でした。みなさまのご協力に感謝します。（首都圏 三村昭彦）

「ともにジュゴンを守ろう！」 広がった思い



今年もブースは多くの人で賑わいました！「じゅごん！！！！絶対守った方がいい！署名します！」と駆け寄り署名をしてくれた青年たちの姿がとても印象的でした。署名をしたい、沖縄のために自分にできることをしたいと、ブースに来てくれる方が多かったです。署名の他に、大騒ぎキャンペーンと題して、今すぐ工事をやめて、じゅごんの調査と保護を防衛大臣に要請するハガキも集めました。工事に反対の方も多く、多くのハガキが集まりました！

また、その場での出会いをきっかけに署名を呼びかけるボランティアに参加して下さる方もいて、仲間の輪も広がりました！多くの仲間と連帯しながら声をあげていくことが大切で、1人、また1人と想いが広がり、それがやがて大きな力になっていくのだと実感しました。亡くなったじゅごんのことを悼む声も多く、

「ともにじゅごんを守ろう！」という思いを多くの方と共有することができました。（首都圏 荒木沙彩）



アースデイ東京には、沖縄・関西からもスタッフがかかりました。交流会はOne Peace Okinawaの色んなメンバーの参加でにぎやかに！

第 19 回 SDCC 総会報告

東京

沖縄のジュゴンを救え！ 辺野古埋立て阻止を

4月19日（金）、東京大井町きゅりあんで第19回SDCC総会を開催しました。

海勢頭豊共同代表の挨拶ではじまり、国際担当の吉川秀樹さんから、最初に辺野古の現状について報告。強行されている工事は5%以上土砂が投入され、今年1月はN4護岸の工事、3月にはN3護岸の工事が開始され、さらにジュゴンが危機的状況になったことが明らかにされました。

ジュゴン訴訟控訴審の現状では、15年という長い年月を闘い続け、勝ったり負けたり紆余曲折にあること。新基地建設工事がジュゴンに影響があることや、ジュゴンが危機的状況にあることなどを米国政府の第三者機関に働きかけていくことで、今後の裁判の行方が注目されると報告しました。また、ジュゴンBの死などの危機的状況や、やんばるの森の世界自然遺産登録と関連させてIUCNに働きかけていると報告しました。

蜷川事務局長から、会計報告と総括方針では、沖縄ジュゴンを救え！の国際世論づくりや米国政府の第三者委員会に働きかけるために米国に代表者派遣することや、米国原告 CBD（生物多様性センター）との交流を深めること。大騒ぎキャンペーンを広げ、やんばるの森の世界自然遺産登録で日米両政府にオスプレイによるノグチゲラへの影響を規制することを求めることな



ど、4つの方針が提案され承認されました。その後、首都圏、関西から会計と活動報告をし、今年のじゅごんの里ツアーの案内と、ジュゴンを救え！大騒ぎキャンペーンについて説明しました。

最後に、人事が提案され、SDCC 設立から事務局長を務めた蜷川義章さんを共同代表に、後任の新事務局長に三村昭彦さんが選任され、拍手で承認されました。他の人事は、海勢頭豊共同代表、国際担当の吉川秀樹さん、正阿彌崇子さん、会計の矢敷克子は引き続き再任されました。

2019年度から2人の共同代表で新体制がスタートしました。ジュゴンの保護、辺野古新基地建設阻止に向けて頑張っていきましょう。（首都圏 矢敷克子）



アースデイ東京
photo Album



OKINAWAじゅごんを救え！大騒ぎキャンペーン ～ 防衛大臣へ 抗議の大騒ぎハガキを送ろう ～

3月19日にジュゴンB死亡のニュースが届いた…。2日前の17日に開催したジュゴン訴訟報告会で、米国の連邦控訴裁判所で再審理中のジュゴン訴訟において、裁判官の判断に影響を与えるため、ジュゴンが危機的状況であること、軟弱地盤に杭7.7万本も打ち込むというおよそ不可能で、重大な環境破壊を引き起こす計画であることなどを、大騒ぎして世論を喚起しようと呼びかけられました。どんなふうで大騒ぎしようか、と考えていた時に飛び込んできた衝撃的なニュースでした。

「死んだジュゴンが、北側の沖の方に流れず、古宇利島と本島の間で漂って、漁師に見られたのも、なにかジュゴンが最後の力を振り絞って、メッセージを残しているように思えます。『自分は死ぬけど、他のジュゴンは絶対に守ってください』と」と吉川さんのメール。ジュゴンは力を振り絞ったんだ…。頭から離れません。今、大騒ぎしなければ！多くの人を巻き込めるように、参加しやすいハガキを作成しました。アースデイ東京、神戸でさっそく集めて送っています。防衛大臣の机の上に高く積み上がるのを想像してがんばっています。

重大な局面で姿をみせるジュゴン。龍宮神としてメッセージを発信しているのだと思わずにはいられません。生物多様性豊かな辺野古の海。座り込むおばあから聴いた「この海があったから、戦後、生き延びることができ、子や孫を育てることができたんだよ」も心に残っています。私たち人間も海

の恵みに生かされていると思います。海を壊して、ジュゴンを絶滅に追いやってしまいたくない。

波照間や宮古島周辺でジュゴンの目撃情報があるという。かすかな希望…。この希望を本物にするために、ジュゴンの大好物の海草藻場が広がる辺野古の海を守らなくちゃ。新基地建設を早くストップさせなくちゃ。

(関西 池側恵美子)



★ハガキは、防衛大臣(岩屋毅)宛でジュゴンの危機的状況をふまえて、

- 1、辺野古埋め立て工事を即中止して下さい
- 2、ジュゴンA・Cの生息状況を調査し、早急に保護策をとって下さい

と要請する内容で、「私のひと言」欄を設けています。ひと言書いて、切手を貼り、あとは投函するだけです!



**今です! 大騒ぎハガキを送ってください。周りに広げてください。
ハガキを同封しましたので、あなたのひと言を書いて、切手を貼って、投函して下さい!**

① わんさか通信 ★ ジュゴンの①

梅雨に爽やかな話題を♪

ひと足お先に沖縄は梅雨入り。(5月16日、平年より7日遅く)

この季節に、沖縄の高校生の爽やかなニュースを2つ、ご紹介。

① 与那国島まで伯父の葬儀に行く為空港へ向かう高校2年生の男子、何と6万円も入った財布を無くしうなだれていた所、通りがかりに事情を聴いた埼玉在住医師の男性がお金を貸してあげたそうだ。

無事に葬儀に出席できたが男性の名前も連絡先も聞いてない事に後で気づき、新聞に投稿し尋ね人捜しをしたところ本人と繋がる事が叶い、涙を流して感謝を伝えたそうだ。(後日再会して返金を約束)

② 埼玉に家族旅行に訪れていた高校3年生の男子、たまたま火事の現場に遭遇。

娘が2階に取り残されていると取り乱す母親の姿に、青年は雨どいをつたい2階までよじ登り、無事少女を救出!

考える前に体が動いていた、今回の件で救助活動に関わる仕事に興味が湧いたそうだ。

奇しくも埼玉繋がりでもうひとつ、西武ライオンズの山川穂高内野手が日本選手史上最速で100本塁打を達成!(拍手)

(沖縄 小平裕美)



「令和」の時代 - ~こらむ・コラム~

高槻市上牧の日蓮宗本澄寺恒例のコンサートが、5月19日の日曜日に決定。案内チラシに、新書『琉球文明』の発見について三好龍孝さんが分かりやすく解説。南西諸島に発祥したジュゴン信仰が中国黄河流域からユダヤ人によって西方に伝えられ、宗教的反流となって日本列島に伝わったという重層的な歴史についてまとめられ、上人が本を深く読み込まれておられることに驚いた。

三好さんとは、映画「GAMA—月桃の花」の上映運動を通しての出会いであった。その出会いがなければ、今回の出版は無かったことになる。ということは、映画製作で苦勞していた私を資金繰りや上映運動で助けてくれた全交の仲間達との関わりが無ければ、私の「卑弥呼コード・龍宮神黙示録」と『琉球文明』の発見の出版は、無かったということである。さらに、ジュゴン保護キャンペーンセンターの活動と米国における沖縄ジュゴン訴訟で、ジュゴン信仰の歴史的文化的価値の重要性を訴えねばならないとする私の思いをずっと支え

てきた蜷川義章さんとSDCCの仲間達の応援が無かったら、やはり、琉球文明の発見は無かったと明言できる。

かくのごとき人生の出会いがあって、私の宿題が完結を見た。そこで、改めてみんなに感謝するコンサートにして、色々と思い出の歌を綴りたいと思う。もう会えなくなった人達の笑顔を思い出して歌いたい。岡部伊都子さん、山口弘さん、田中せいじさん、などなど。せいじと言えば、松本清治さんがリハビリ中とのことだが、焦らず頑張って元気を取り戻して欲しいと願う。彼の案内した熊野の旅のお陰で、神武東征神話の嘘と真実を確かめることができた。

日本は今、その神武東征神話のでっち上げによって令和の時代を迎え、大騒ぎである。そこで、今回の目玉として久しぶりに「令美」を歌うことにした。「時は今2019年」版に歌詞を変えてである。辺野古を埋め続ける日本政府は、まさに冷たい大和朝廷の「令和」の時代を迎えたことになる。

海勢頭豊（うみせど ゆたか：SDCC 共同代表）

報告

アースデイ神戸に参加しました！

5月4日・5日と神戸の三宮にある「みなとのもり公園」でありました。この「みなとのもり公園」は阪神淡路大震災の復興記念の公園です。きちんと整備されていて気持ちの良い公園でした。両日ともに雨の心配もなく暑いぐらいの晴天に恵まれ、たくさんの来場者がありました。ここは普段から家族連れが多く自前のテントを持ち寄って遊ぶ公園のように参加者も家族連れで賑わっていました。

アースデイ神戸は開催されて13年目になりますが、今年初参加です。年々ブースの出店数も増えて賑わってきているようです。4月に行われたアースデイ東京とは規模も参加人数もとても違うのですが、ここはのんびりと時間が過ぎている感じで神戸らしい雰囲気でした。

署名をお願いするとたくさんの人が快く署名をしていただけました。「ジュゴン大好き」と言って寄ってくれる人や「是非、署名させて欲しい」といって駆け寄ってくれる人が何人かいて嬉しい限りです。辺野古のことを知っている人も多く認知度の高さを感じました。しかし、今年3月になくなったジュゴンBのことを話すとまだまだ知らない人が多く「OKINAWA ジュゴンを救え！大騒ぎキャンペーン」の意義を感じました。（注：6ページ参照）今回集めたはがきは37枚でしたが、持ち帰って投函すると言ってくれた人も多く手応えを感じました。アースデイは環境意識の高い方が多く、奈良や京都・滋賀など遠くからの参加者もあり実りあるイベントでした。（関西 上田千鶴）



アースデイ神戸始まりー！



じゅごん帽をかぶって署名やメッセージをもらいました。

たくさんのジュゴンを連れ帰っていただきました。



<首都圏>

6/9(日)平和・沖縄ちゃんぶる祭り
 15:30~20:00(19:00~交流会)
 場所:品川区立スクエア荏原1階イベントホール
 東急目黒線武蔵小山、東急池上線戸越銀座徒歩 10分
 参加費:1,000円 ※販売ブース出します

<関西>

・6/9(日)東アジアに平和を！武力なき平和のための
 2019ZENKOスピーキングツアー 大阪集会 14:00~
 大阪市立住まい情報センター・ホール(3F)
 ・6/20(木)、7/25(木)じゅごん茶話会 14時~ 関西事務所

《 今後のスケジュール 》

<沖縄>

第13回じゅごんの里ツアー

(辺野古現地を訪れるスタディツアー)

日程 6/28(金)~30(日)2泊3日

参加費 32000円+今年度SDCC会費2000円

宿泊2泊・船・レンタカー・ガイド料・食事代(飛行機代は含まれません)。6/28 那覇空港 10時半集合、6/6 午後5時頃解散です。部分参加も受け付けています。

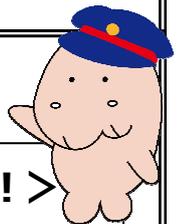
詳細は下記事務所までお問い合わせください。

*締め切り 6月9日(日)定員になり次第締め切ります。

ぜひ一緒に行きましょう~!

お申し込みはお早めに☆

毎月15日はジュゴンの日！ジュゴン保護の楽しいアクションを企画しました



<6/15 ジュゴンでトレイン！>

「ジュゴンでトレイン！」はジュゴンの着ぐるみ、紅型着物、じゅごん帽などを身につけて、大阪環状線に乗り込みぐるっと一周、ジュゴン保護をアピールするアクションです。6月15日のジュゴンの日に、京橋駅、天王寺駅、大阪では駅前ではジュゴンアピール&署名集め、電車の中では、メッセージボードでサイレントアピールします。

☆6月15日(土)大阪のスケジュール☆

14:00~ 京橋駅 JRと京阪の間のひろばでアピール
 14:30 大阪環状線で天王寺駅へ移動
 15:00~ 阿倍野歩道橋でアピール
 (JR天王寺駅と近鉄阿倍野駅間の連絡橋)
 15:30 大阪環状線で大阪駅へ移動
 16:00~16:30 ヨドバシカメラ前でアピール

あなたも一緒にトレイン！しませんか？
 部分参加も歓迎です。
 ご参加お待ちしております。



ジュゴンでトレイン！

<あなたの街でジュゴンでトレイン！>

大阪だけでなく、あなたのいる場所でアピールしてみませんか？電車に乗らなくても大丈夫☆ジュゴングッズやメッセージボードを手にした写真を撮って、メールやFBに送ってください。駅前など人の多い場所やイベント会場で、そのほかどこでもOKです。全国各地で同じ日にジュゴンのこと、基地のこと、平和のことを考えましょう！

(日にちは多少前後してもOKです)



あなたの街でジュゴンでトレイン！

楽しいアクションで、
 ジュゴンのこと、辺野古のこと、
 もっともっと伝えよう！



大騒ぎキャンペーンのハガキ、まわりの方にも広げていただけませんか？
 下記事務所に連絡いただければお送りします(送料・切手代カンパ歓迎です)。
 ※ハガキはHPからダウンロードすることもできます

<http://www.sdcc.jp/top.html> OKINAWAじゅごんを救え！大騒ぎキャンペーン！

ジュゴンちゃんぶるニュース VOL.103 2019年5月28日発行
 ジュゴン保護キャンペーンセンター Save the Dugong Campaign Center (SDCC)
 〒162-0815 東京都新宿区筑土八幡町2-2-1
 第1千代田ビル301 なかま共同事務所内 TEL/FAX 03-5228-1377
 ○ <http://www.sdcc.jp/> ○ info@sdcc.jp
 (関西事務所) 〒534-0025 大阪市都島区片町2丁目9-21 京橋ベース 302
 TEL/FAX 06-6353-0514

会費(2000円)&カンパ振り込み先

郵便振替:

加入者名 ジュゴン保護キャンペーンセンター

口座番号 00140-9-660199

他行、コンビニからは: ゆうちょ銀行 ○○八支店

口座番号 普通 8159084

*会員の皆様へ 転居された際は、新住所を事務局までお知らせください。

ちゃんぶるニュース購読会員募集中です。年会費2000円で年6回ニュースをお届けします
 お問い合わせは、上記事務所まで。ニュース購読で、あなたもジュゴンサポーターに！

